

# 事務事業名 海岸環境美化事業

政策:03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策:03 観光の振興

基本事業:03 海岸の整備

部名:経済環境部

課名:商工観光課

計画年度	平成20年度 ~ 年度	事業区分	継続	会計区分	普通会計	
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
海岸		山武市内 8 kmに及ぶ海岸線の環境保護、観光客の快適な環境での来遊を図るために、年間を通じての委託清掃（ビーチクリーナー・手拾い）や市民、ボランティア等による毎月清掃、小中学校の児童生徒による清掃活動を実施している。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		清掃用ビーチクリーナーの維持管理の上で機械の老朽化や塩害による修繕費の高騰、補修期間長期化により円滑な運用が困難となり、20年度に新規購入（1台）したことにより、円滑な運用や修繕費の軽減がされた。				
定期的に海岸清掃が行われ、海岸がきれいになります		また、2台目のビーチクリーナーを当初22年度購入の計画から23年度に移行した。（備品購入事業参照）				
4 活動指標・成果指標・事業費の推移						
区分	指標名称	単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値
活動指標	清掃日数	日	100	150	150	-
活動指標	ボランティア団体による清掃回数	回	36	36	36	-
成果指標	ごみ収集量	t	100	87	90	-
成果指標						
事業費		千円	5,211	4,393	7,573	
		うち一般財源	千円	5,211	4,393	7,573
5 目的妥当性						
法定受託事業である（根拠法令） 妥当である 妥当性が低い		環境・観光客の来遊				
6 上位の基本事業への貢献度						
貢献度大きい（理由） 貢献度ふつう（理由） 貢献度小さい（理由） 基礎的事務事業		市のイメージアップ 利用者数の増加				
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討						
対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる 対象や意図の見直しはできない その他		特になし				
8 有効性（成果状況）						
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない		ゴミ0を目指すためには各種方策が必要である。				
9 有効性（成果向上余地）						
成果向上余地・大 成果向上余地・中 成果向上余地・小・無し						
10 事業の再編成						
類似の事業があり、再編成できる 類似の事業はあるが、再編成できない 類似の事業はない		類似事業でゴミ0運動が実施されている				
11 効率性（コスト削減の方法）						
ある ない		ボランティア協働の実施				